

山形新聞 2011年10月24日に掲載

庄内町出身の尋末の志士
・清河八郎が出奔した際に

「回天の道」たどり 月山山麓を駆ける

庄内町・アドベンチャーラン大会



号砲とともにスタートする参加者
庄内町・清河八郎記念館前

まちネットが昨年整備した山道などを含む20キロコース。クイズラリーの要素も取り入れ、問題に正解すると総合タイムが短縮されるシステムにした。

個人の部は町内や尾花沢市の5人、親子の部（3・5歳）は7組16人が出場した。個人の部の出場選手は号砲とともにスタートし、コース中10カ所で「庄内町に山頂がある山」「歓喜寺に墓のある人物」などの問題に挑戦。八郎が通った山道を登りながら、いにしえに思いをはせていた。

選った県内のルート「回天の道」を利用したアウトドアスポーツ「月山山麓・回天の道 アドベンチャーラン大会」が23日、庄内町清川、立谷沢の両地区で開かれた。

地域住民らによる実行委員会が初めて開催。清河八郎記念館をスタートし、町長や東京のNPO法人元氣・